



広報 うしく

2010.2.1

USHIKU CITY NEWS

第1018号
茨城県牛久市

ランナーたちが健脚を競う

第34回牛久シティマラソン

1月11日、小雪がちらつく中、恒例の牛久シティマラソンが行われました。今年は市内外から約3,800人が参加し、さわやかな汗を流しました。

ランナーたちは、合図と同時に勢いよくスタート。順位を競う人や仮装して楽しみながら走る人など、参加者はそれぞれの思いを胸にコースを走破。応援に駆け付けた沿道の人々も、「頑張って」とランナーに大きな声援を送りました。

(14ページに関連記事)

主な内容

- ◆平成22年新年賀詞交換会…2P
- ◆市県民税(住民税)、所得税の申告は正しくお早めに…4P
- ◆刈谷行政区役員との市政懇談会を開催…5P
- ◆うしく安全・安心ワールド2010…6P
- ◆交通安全…7P
 - ・平成21年中の交通事故発生状況
- ◆消防団 NEWS…7P
 - ・消防団のあゆみ
- ◆としょかん…8P
 - ・うちどくファミリー大募集!
- ◆画聖 小川芋銭…8P
 - ・再び芋銭を考える⑤
- ◆体育協会だより、文化協会だより…9P
 - ・山口香講演会「柔道と私～選手として、指導者として～」
 - ・加盟団体紹介…喜幸会・牛久支部
- ◆新・牛久ごみニュース…10P
 - ・ごみダイエット② ごみ減量大作戦
- ◆消費生活センターだより…11P
 - ・お金をあげる?～出会い系サイト内の悪質な手口にだまされないで!
- ◆みんなの農業…11P
 - ・恒例! 「河童大根」収穫体験
- ◆話題・街にひろう…12P
 - ・輝かしい未来を担う新成人
 - ・命を守る自主防災活動
 - ・第34回牛久シティマラソン
- ◆歴史・読み物 昔の牛久…17P
 - ・「住井すゑとその文学の里(四十八)」
- ◆暮らしの情報…18P
 - ・第4回牛久駅東口駅前広場利活用ワークショップ
 - ・パブリックコメント(意見募集)を実施します
 - ・新型インフルエンザワクチン接種のお知らせ
 - ・牛久市社会福祉協議会嘱託職員等募集
- ◆今月のたいへんよくできました…26P
 - ・つばめ保育園のお友だち



市民憲章

1. 水と緑を愛し 美しいまちをつくりましょう
1. 未来をのぞみ 明るいまちをつくりましょう
1. 心をやさしく 福祉のまちをつくりましょう
1. 日々をはげみ 豊かなまちをつくりましょう
1. 笑顔をたやさず 平和なまちをつくりましょう

平成22年新年賀詞交換会

1月6日、市中央生涯学習センターで新年賀詞交換会が開催され、200人を超える市民が牛久市のさらなる飛躍、発展を祈りました。

ここでは、主催者代表の池辺勝幸市長のあいさつを紹介いたします。

市長あいさつ(要旨)

◇頑張れば先が見える

皆さん明けましておめでとございませう。皆さま、明けましておめでとございませう。皆さま、明けましておめでとございませう。

今までの経済環境というのは、大勢の方が言われているように非常に深刻な状況でした。ちょうど一昨年の10月のアメリカの金融危機による金融バブルの崩壊から始まって、現在も実体の経済に非常に影響を与えてきているという状況です。

そういう中で、皆さんのそれぞれのご商売や、生活環境が相当厳しい状況にあるのではないかと思っています。牛久市のご4、5年の世帯別の所得などの変化を見ますと、牛久はこの近隣の中では、所得の高いまちです。かつては1世帯当たり平均すると約600万円ありましたが、

一昨年の実績では、450万円に落ち



減ったというだけではなく、団塊の世代の皆さんが、退職に伴い年金生活へと変化したことなども影響しているのではないかと思っています。

こうした状況にあつて、この牛久市に住んでいる方々に、いかに安心して、「これから頑張るぞ、頑張れば先が見えるぞ」という希望、そして夢、そのような明かりを見いだしていくかが重要であり、そういう環境を整えていくことが、牛久市役所の仕事ではないかと思っています。

牛久市の市政の中身を見ると、去年と今年を比べて、市の単独の税収が約5億円落ちています。この5億円というのは、公共事業に限って言えば、約10億円の仕事を借金無しでやれる額です。仮に借金してやれるとなれば、15億円とか20億円の事業も実施することもできます。そういった意味で5億円の減というのは、牛久市にとっては非常に大きい問題です。

また、市として少し不安に思っていることは、国の政権交代です。今日は小泉俊明衆議院議員もいらつ

やっています。急激な政治、行政府の変化の中にあつて、牛久市と国とのパイプをちゃんとなつないで、混乱のない状態をつくっていただいています。

ただ、民主党政権になって政策変更や財源の問題など、変わり目であり、多くの問題があります。市の責任者とすれば、どういった方向に変わっていくのかをよく見据えていくと同時に、提言もしていきたいと思っています。

◇この6年を振り返って

さて、私も市政をお預かりしてちょうど丸6年が経過しました。小泉改革による地方交付税の大幅削減などで、3年間で10億円以上減収となりました。これに対応するため、TQM活動やQCサークル活動などの業務改善活動を通じて、職員意識改革をしてきました。

私が市長に立候補したときの一番の思いは、「牛久市役所が変われば牛久市は変わる。職員がどのような働きをするかによって、雲泥の差がある」ということでした。当時、「市の職員は、牛久市民のために、このために」という思いでした。そこから、市役所を市民のために働く場所とし、また職員を、市民のために働く職員とし、そして市民の皆さんからいただいた税金を市民の皆さんのために使うように還元することに

よって牛久は絶対活性化する、そのような強い思いから市長に立候補し、それを実現するためにまい進してきました。

結果として、市の職員の理解、そして努力があつて、急激な年収減、交付税の削減などについても、内部の行政コストを削減することによって対応することも、人事考課制度を導入して、それまでの年功序列制度を廃止しました。そのことによって、職員間の適材適所の人事配置、そして仕事に対する適切な評価をした上での処遇をしてきました。

この6年間に市の職員の意識は大幅に変わりました。そして、市民の皆さんのために働くことによって自分たちの給料がもらえる、自分たちが頑張ることによって市も活性化する、市が活性化することによって、住民の皆さん、市で経済活動している事業所の皆さんが、他の地域と比べてより元気になる、というように意識改革をしてきました。

◇縦割り行政の排除

もう一つの大きな内部改革として、縦割りの排除を行いました。それまでの市役所の決裁・会議というのは、各部単位でした。市長まで決裁が上がってきて、市長一人が決裁する。市役所全体がどのように、どの部門がどういう意思決定をしながら動いているのかということが、市

役所の中では市長しか分からない状況でした。それを月・水・金曜日の週3回、朝の打ち合わせ会として、理事会を開き、理事以上の幹部と事務局が入り、決裁はすべて担当課長、または担当職員がその場で説明をして決裁を受けるということに変更しました。

◇精鋭職員の集団

私は行財政改革というのは、ただ財源を削ればよいというものではないと考えています。やはり、チームで和をもって仕事をする集団。それも精鋭の集団でなくてはなりません。事務的な改革だけすればよいというわけではなく、仕事をするにはまず、自分の身の回りの掃除をすること、その前に人と会ったらいさつをすること、これを徹底してきました。

それまでは、市役所の中で職員の皆さんは朝会つてもあいさつをしませんでした。あぜんとしました。日々の業務においても、職員間のチエツク、そして分からないことは自分たちで調べ、それでも分からないことはちゃんと聞く。そういう癖が徐々に付いてきました。

今は私が細かく指導しなくても各職員がやるようになりました。そのことによって生み出された財源で、子育て支援などを実施し、保育園を造ってきました。

◇若者が増えるまち

今の若い世代は共働きが当たり前の世代になっていきます。私は戦後の団塊世代の一番後で、ちょうど満60歳を迎えましたが、女性は家庭を守り、男性は外で働くということが主流の価値観でした。ところが、現在は女性も男性と同じように働き、そして結婚をし、子どもが生まれれば育てていかなければならない。そのようなライフスタイルの大きな変化に対して、私は対応してきましたつもりです。

その結果、牛久市はひたち野うしくの開発もありましたが、人口が増加してきました。特に若い世代の人たちが増えていきます。現在、常磐線沿線で人口が増えているのは牛久市だけです。12月28日現在、住民基本台帳、いわゆる日本の国籍を持っている人の数が8万0003人となり、外国人登録の方々が1600人弱です。人口構成を見ると、牛久は30歳代が2番、または3番目に多くなっています。4番目に初めて56歳から59歳までの方になっています。

これに加えて、現在は0歳児から4歳児が増えてきていて、ようやく人口減少の歯止めがかかりそうです。牛久市内においては、今年成人式を迎える方は810人。新生児の赤ちゃんも800人を超えるようになりました。牛久というまちのこれからの発展の二つの兆しだと認識しています。

◇税収増への取り組み

財政的には税収減ではありませんが、去年12月議会で株ホギメディカルさんに、市がオーターモードで請け負った工場用地12ヘクタールを引き渡しました。土地の買収・開発行為・工事が全部終わり、4億3000万円円の利益が出ています。もうけるためにやっているのではなく、企業誘致のためにやっているのですが、市役所のやっていることはいつも赤字だと言われますが、黒字のこともあります。そして、今年5月の固定資産税は数千万円増となります。

1所帯、戸建1軒が増えると、牛久は年間で約40万円の市税が入ってきます。市役所も商売の時代です。皆さんの生活を守るには、個人を増やし、企業を増やし、そして税収を確保し、その預かった貴重な税金を皆さんの生活がより利便性を持つように、また、商売であればそれが継続できてもうかるようにお手伝いしていきます。

今年の仕事始めて、職員に「職員の仕事が今とどんどん変わっています。以前の市役所の職員の仕事は制度を運用していればよかった、国が決めた法律だけ運用していればよかった。しかし、これからは市民のためにやる仕事をしなさい」と言いました。また、今年はどうなにか景気が悪くなくても、職場が無くなると家庭崩壊するような家庭を減らすこ

と。そして、かわいい子どもを育てている家庭が、少なくとも他人の世話になることなく自立できるように家庭を支えること、それが市役所の新しい仕事だと言いました。

市民サービスを低下させないために、私は市長になってから職員は減らしていません。むしろ増やしています。人件費は42億円台で横ばいです。正職員数は減らしていますが、人件費は減らしていません。共済費や退職金、それ以外の費用が増えてしまつて人件費は減っていません。人件費が減り始めるのは平成24年以降です。これからやることはいっぱいあります。ただ、一円のお金も無駄にせず、大事にしながらやりたいと思います。

◇手を携えて夢のあるまちへ

牛久市は皆さんと手を携えながら前向きの仕事をしていきます。ぜひ、今後とも話し合いをしながら、この牛久が前向きで、そして苦しい時があつても、それを耐え抜けば、幸せな時が来ると、そういうような夢のあるまちにしていきたいと思っています。

皆さんからの信頼を裏切ることなく、上向きになるであろう年を迎えるためにも、この1年、その準備のために皆さんと一生懸命汗をかきたいと思っています。よろしくお願ひ申し上げます。

市県民税(住民税)、所得税の申告は正しくお早めに

申告受付期間は、2月16日(火)から3月15日(月)までです。場所は市保健センター2階研修室になります。受付時間は、平日の午前8時45分から午後4時までとなります。開場は午前8時です。

市役所および竜ヶ崎税務署では、確定申告期間中の2月21日・28日の日曜日限り、確定申告の相談や受け付けを行います。右記以外の土・日曜日は閉庁日になっていますので、ご注意ください。

なお、市役所での受付時間は、この日曜日の2日間に限り午前8時45分から午後3時までです。(平日は午後4時までです)

●確定申告について(税務署からのお知らせ)

・所得税の還付申告の方は、2月15日(月)以前(市役所では受け付けしていません)でも、申告書を提出することができますので、直接税務署へ提出してください。

・確定申告書の提出は、郵送または税務署の時間外収受箱への投かんによっても、提出することができます。

・国税庁では、確定申告に関する

各種情報を納税者の方に提供するため、ホームページを開設しています。所得税の確定申告書および贈与税の申告書の作成ができる「確定申告書作成コーナー」もありますのでご利用ください。

・所得税確定申告期間中、e-Taxは24時間利用できます。「確定申告書作成コーナー」でもe-Tax用の申告データが作成できます。

・土地、建物、株式などの譲渡所得がある方、配当で譲渡取得と損益通算の申告をする方は、税務署で申告いただきますようお願いいたします。

●市県民税(住民税)申告について(市からのお知らせ)

・市県民税(住民税)の申告書は、2月15日(月)以前でも提出できますが、閉庁日および時間外の受け付けは行っていません。(確定申告書は受け付けできません)

・郵送による提出もできます。

《市県民税(住民税)の住宅ローン控除について》

所得税の住宅ローン控除を受ける方で、平成21年分の所得税から控除しきれない額がある方は、翌年度の市県民税(住民税)所得割から控除できます。

毎年市町村へ提出する必要があった「市民税県民税住宅借入金

等特別税額控除申告書」は、提出の有無を選択することができ、提出しなくても控除が受けられるようになりました。(平成22年度から)控除を受けるための手続きは、

年末調整または確定申告で必要書類を添付することで市県民税にも反映されます。ただし、平成21年中に入居の場合は、控除を受ける最初の年に限り確定申告が必要となります。(給与所得者に限り、翌年以降は年末調整で控除が受けられます)

※平成19年・20年中の入居の場合は、所得税控除のみとなっています。

問い合わせ

【確定申告について】

竜ヶ崎税務署(T301・8601)
龍ヶ崎市川原代町118
2・5 ☎0297・66・13
03(自動音声案内)

【市県民税の申告について】

市税務課 ☎内線1056〜1059

さらに便利で使いやすく!
ネットでどこでも申告・納税。

e-Tax

国税電子申告・納税システム

e-Tax ホームページ

<http://www.e-tax.nta.go.jp>

公的年金からの市県民税(住民税)の特別徴収 (天引きQ&A)

国の税制改正により、公的年金受給者を対象として昨年10月から住民税の天引きが開始されました。今後年金受給者の増加が予想される中で、年金受給者の納税の便宜を図り、徴収体制の強化を目的として導入されたものです。

Q1 いつから導入？

平成21年10月の年金の支給から天引きが開始されました。

Q2 対象者と対象年金は？

65歳以上(4月1日現在)の公的年金(老齢基礎年金など)の受給者で、介護保険料がその年金から天引きされている方。ただし、遺族年金や障害年金は、対象となりません。

Q3 天引きする税額は？

公的年金の所得のみに対する住民税になります。

Q4 対象者への通知(年金給付の年額や特別徴収対象税額等の税額を掲載)はいつ、どこから？

6月までに、市から該当者へ通知が届きます。

Q5 65歳(4月1日現在)になつたが天引きはいつから？

新たに65歳になった方の天引き

開始は10月分の年金からになります。1期・2期分につきましては個人で納めていただくこととなります。この場合、所得が公的年金のみであれば個人で納めていただく3期・4期分はありませんが、公的年金以外の年金やほかの所得があれば個人で納めていただく3期・4期分が発生する場合がありますので、6月にお送りします納税通知書をご確認ください。

Q6 昨年10月から天引きが開始されたが2年目以降はどうなるの？

4・6・8月は前年度2月に天引きされた額と同じ額が天引きされ、10月以降については年税額から4・6・8月分を差し引いた額を10・12・2月に分け天引きされることとなります。

問い合わせ 市税務課 ☎ 内線1056〜1059

刈谷行政区役員との市政懇談会を開催

12月21日、市役所で刈谷行政区役員の方々と市政懇談会を開催しました。この日は、刈谷行政区の皆川区長をはじめ、副区長4人が市役所を訪れ、池辺勝幸市長、副市長、教育長ほか各部長と現在の市の課題や地域の身近な問題などについて、熱心な話し合いが行われました。

当日、懇談会で交わされた刈谷行政区の方々からの意見や提言の一部をご紹介します。

主な意見や提言(抜粋)

- ・刈谷川周辺の雨水対策の進ちよく状況について
- ・マンホールを含めた道路の点検について
- ・要援護者の見守りについて(広報紙配布時の声掛けなど)
- ・回覧板の形状について(ポストに入るものや、雨にぬれても大丈夫なようにビニールの入れ物に入れてはどうか)
- ・空き地の雑草の除去について
- ・道路まで出ている庭木の枝葉の除去について
- ・牛久駅西口の国道6号に出る道路の左折レーンの混雑について

- ・自転車の右側通行が多い。また、歩道を走ったり、無灯火だったりして危険

- ・小学生は子ども会で接点があるが、中学生になると接点がなくなっている。夜の防犯パトロールなどを一緒にやっているが、積極的に接点をつくっていききたい。できれば世代を超えた活動をやっていきたい。

- ・市の職員は少数精鋭でなければいけない。一人ひとりがレベルアップしてほしい。
- ・区内在住の外国人とのコミュニケーションについて

※市では、市長が地域のさまざまな課題を市政運営に反映させることを目的として、各行政区役員の方々と懇談会を実施しています。今後も行政区ごとに実施しますので、ぜひご活用ください。

ホームページ http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/section/hisyofukondankai/kondankai_index.htm

問い合わせ 市政策秘書課 ☎ 内線32001

うしく安全・安心 ワールド2010

—交通事故や災害から大切な命を守るために—

2月28日(日) 午前9時開場
市中央生涯学習センター文化ホール

入場
無料

第1部(午前9時15分～)…交通安全講話、交通安全宣言

第2部(午前10時～11時15分)…山村武彦氏講演会

「新型インフルエンザの知識と知恵」

講師：防災システム研究所所長 山村武彦氏

山村先生は危機管理のスペシャリストとして全国で活躍しています。今回は世界で猛威を振っている「新型インフルエンザ」に感染しない・させないため、市民の皆さんを不安に陥れている「新型インフルエンザ」をよく理解し、その対処法や予防法などを一緒に学びましょう。



体験コーナー

午前10時～

- はしご車搭乗体験
- シートベルト体験車
- 地震体験車



第3部(午前11時30分～午後0時10分)…マーチングバンドのパフォーマンス

県立大洗高等学校マーチングバンド「BLUE-HAWKS」は各種の全国大会で多数の金賞を受賞する実力校です。国内のイベントや県代表としての参加のほか、海外遠征でも好評を博しています。洗練されたサウンドとシャープな演技をご堪能ください。



すいとん無料サービス

牛久市交通安全母の会で1,200人分の「すいとん」をご用意しています(第3部終了後)。ご近所、ご家族おそろいでお越しください。とてもおいしいですよ!



※駐車場は、市中央生涯学習センターおよび市役所をご利用ください。なお、駐車台数が限られていますので、できる限り相乗りでお越しください。

主催 牛久市、牛久市交通安全母の会、牛久市消防団 問い合わせ 市交通防災課 ☎内線1681、1683

平成21年中の交通事故発生状況

☆県内の交通事故死者数 199人

全国ワースト6位

☆飲酒運転による死亡事故件数 16件(+4)

全国ワースト2位

		発生件数	死者数	負傷者数
茨城県	平成21年	16,668件	199人	21,632人
	前年比	△1,557件	△11人	△1,876人
牛久市	平成21年	473件	4人	587人
	前年比	△62件	△2人	△85人

(資料提供：茨城県警察本部 平成21年12月31日現在)

☆県内の交通事故の特徴

- ①年齢別では、高齢者(65歳以上)の死者数が90人で最も多く、全死者数の45%を占めており、高齢者が歩行中(46人)や自転車乗車中(18人)に事故が発生しています。
- ②違反別では、最高速度、酒酔い、信号無視など悪質な違反による死者数(51人)が全死者数の約26%を占めています。
- ③シートベルト非着用の死者数は32人で、着用していれば約半数は助かった可能性があります。



牛久市消防団の沿革を2回にわたって掲載します。1回目は、市制が施行された昭和61年までをご紹介します。

牛久市消防団は牛久町と岡田村が合併した昭和29年、牛久町消防団として発足しました。その約1年後、牛久町と奥野村の合併に伴い、奥野村消防団が編入されました。

昭和50年には牛久消防署が開設され、常備消防と非常備消防が一体となった消防体制が整いました。牛久消防署と消防団の協力関係は開署から今日まで、30年以上にわたり受け継がれています。

昭和53年、小坂団地で活動を続けてきた自衛消防隊を消防団の分団として迎え、牛久町消防団は全30分団になりました。

消防団のあゆみ



市交通防災課
☎内線1682

牛久市消防団沿革(明治20年から昭和61年)

年・月	内容
明治20年7月	牛久村消防組発足
明治30年	奥野村消防組発足
昭和14年4月	牛久村・岡田村・奥野村警防団発足
昭和22年5月	牛久村・岡田村・奥野村消防団発足
昭和29年4月	牛久町(昭和29年1月1日、町制施行)・岡田村が合併、「牛久町消防団」発足
昭和30年2月	奥野村(昭和30年4月1日、牛久町と合併)消防団を編入
昭和53年4月	小坂団地自衛消防隊を編入、全30分団となる
昭和55年4月	全分団において車両の配備が整う
昭和61年6月	市制施行「牛久市消防団」に改称

昭和55年、30個あるすべての分団に車両の配備が完了しました。これによって消防団の機動力は大幅に向上し、より迅速な消火活動が可能になりました。

そして昭和61年、牛久町が市制を施行したことを受け、消防団の名称も「牛久町消防団」から「牛久市消防団」に改められました。



うちどくファミリー 大募集!

「うちどく(家読)」とは、家族みんなで同じ本を読み、読んだ本について話をする新しい読書スタイルです。難しいルールはありません。家族みんなで同じ本を読むことをきっかけに、読書の習慣を共有化し、家族のコミュニケーションを図ろうという試みです。

市中央図書館では、この「うちどく(家読)」という活動を進めています。中央図書館内で、おすすめ本の紹介や読んだ本を記録する「うちどく用紙」を配布しています。また、春のこどもとしょかんまつりでは、「うちどく(家読)」を実践されているご家族の体験発表会を企画しています。そこで、体験発表会に参加していただけるご家族を募集します。

これから「うちどく(家読)」を始めようというご家族、大歓迎です。皆さんも家族で同じ本を読んでも、もっと読みニケーションしませんか?

詳しくは、市中央図書館までお問い合わせください。



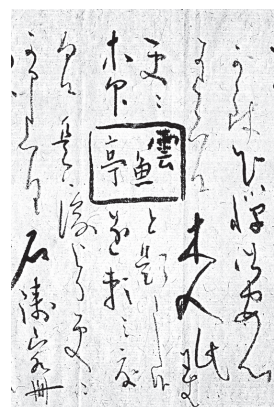
返し忘れの資料はありませんか?

未返却資料(本、雑誌、紙芝居、CD、カセット)がある利用者の方には、図書館の利用を制限することがあります。お手元に返却期限を過ぎた資料があれば、早急に返却してください。特に、12月の冊数無制限貸出中に借りた方はご注意ください。休館日や夜間閉館中は、返却ポストをご利用ください。中央図書館のみ、CDも返却ポストに返却できます。

今月の行事予定 <場所：市中央図書館>

- ◆映画上映会◆ 2月21日(日)午後2時
『ペイ・フォワード(洋画・吹替版)』
- ◆牛久おもちゃ病院◆ 2月21日(日)午前10時～正午
- *おはなしよんで…毎週水曜日午後2時
- *おはなし会…毎週土曜日午後2時
- *おはなしとんとん…毎月第2日曜日午前11時
- *うさちゃんきいて…毎月第3金曜日午前10時30分

◆今月の休館日 ◆ ★全館休館日…2月8日(月)・22日(月) ★エスカード分館のみ休館日…2月17日(水)



聖画 小川芋銭

再び芋銭を考える⑬

昨年開催された「第3回小川芋銭展」会場において、小川芋銭記念館に関する質問がありました。記念館は、別に「雲魚亭」とも称されていますが、「魚雲亭」という人もあるので、どちらが正しいのかという内容でした。

芋銭に関する書物中には、確かに両方の呼称が存在します。どちらを採用するかを考えると、芋銭の自筆資料が遺っていれば、問題は一挙に解決するのですが…。

実は、そのような資料が存在するのです。芋銭は、酒井三良を介して、篆刻家・長曾我部木人に「雲魚亭」の印章制作を依頼しました。該当する部分を図版として掲げました。中央部分の四角く区切られた中に、「雲魚亭」と書かれているのが分かります。三良あて書簡の日付は、昭和11年12月31日です。それまで滞留していた文村(現利根町)を引き払い、芋銭が、新築のアトリエに入居したのは、昭和12年9月末のことです。このことに付随してか、命名も同時期といわれてきました。しかし、「雲魚亭」なる呼称は、書簡に見るとおり、前年末には決められていました。

次に、「魚雲亭」という呼称について調べてみます。書物などを探してみると、俳句雑誌「ちまき」昭和12年11月号に、同誌主宰川村柳月の一文「牛久沼三人時雨」が掲載されており、その中に「魚雲亭」という文字が認められます。筆者の柳月は数度牛久へ足を運び、その訪問記中に「魚雲亭」という語を何度か使用しています。

また、同誌には、文責が芋銭にないものも掲載されています。芋銭の自筆資料をさておき、それらをもって、「魚雲亭」こそが正しい呼称であると主張することは難しいでしょう。

小川芋銭研究センター 北畠健



体育協会だより

<147>

牛久運動公園体育館内
牛久市体育協会事務局
☎873-2486 FAX873-2895

山口香講演会

「柔道と私～選手として、指導者として～」

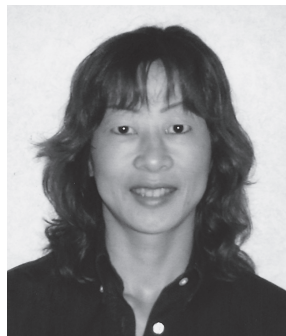
日時 3月14日(日)受付午前9時30分～、午前10時開演
場所 市中央生涯学習センター多目的ホール
対象・定員 どなたでも・200人
参加費 牛久市体育協会会員と高校生以下は無料。そのほかの方は当日受付時に300円徴収します。
申し込み方法 ①山口香講演会参加希望②氏名③住所④電話番号⑤年齢⑥会員・非会員の表記(会員の場合は所属団体名)を記入の上、2月26日(金)までに、FAX(873-2895)、はがき(〒300-1203牛久市下根町1400牛久運動公園体育館内牛久市体育協会事務局)、または牛久運動公園体育館および市役所第3分庁舎市社会体育課の窓口にご提出ください。※ホームページからもお申し込みできます。牛久市体育協会でご検索。
問い合わせ 牛久市体育協会事務局 ☎873-2486

プロフィール

山口香(やまぐちかおり)

(筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授)

6歳のころから柔道を始め、中学生で早くも全日本チャンピオンになり10連覇を成し遂げソウルオリンピックでは銅メダル。その後も女子柔道界では“女三四郎”と呼ばれ、漫画「YAWARA」のモデルにもなりました。現在は筑波大学大学院において講義をする傍ら、後進の指導に当たっています。



牛久市文化協会だより (97)

市教育委員会生涯学習課内
牛久市文化協会事務局
☎871-2301 FAX871-1334

加盟団体紹介

喜幸会・牛久支部(代表:鈴木久 ☎873-8865)

井坂流津軽三味線家元井坂先生が土曜日の午前中から夕方まで、一軒家を借り切って幅広い年齢層の方々が一緒に楽しくおけいこやミーティングをしています。8月29日(日)は市中央生涯学習センター文化ホールで発表会を開きます。



12月13日、市中央生涯学習センター多目的ホールで、箏・ピアノ・合唱・アンサンブルと多彩な内容で「2009MUSE クリスマスコンサート」を開催しました。



催し物のご案内

●アキラさんとまこと君～ふたりのオーケストラ～

日時 2月14日(日)午後4時～6時、午後3時20分開場
場所 市中央生涯学習センター文化ホール
出演 宮川彬良氏(ピアノ)、平原まこと氏(サクソ)
入場料 大人2,000円、子ども1,000円(4歳～高校生)
※3歳以下の入場はご遠慮願います。

問い合わせ 牛久おやこ劇場(種子田) ☎874-3404

●春のアレンジ「ひな祭り」

日時 2月25日(木)①午前10時～正午②午後1時～3時
場所 ①市中央生涯学習センター小会議室(2階)②松本宅
参加費 2,000円(材料費のみ)

問い合わせ N・フラワーサークル(松本) ☎・FAX 873-7894E メール n.flower-0102@eagle.ocn.ne.jp

文化公演事業

KOBUDO 古武道

～尺八・チェロ・ピアノコンサート～
市中央生涯学習センター文化ホール
チケット発売日:2月7日(日)午前9時～





新牛久ごみニュース

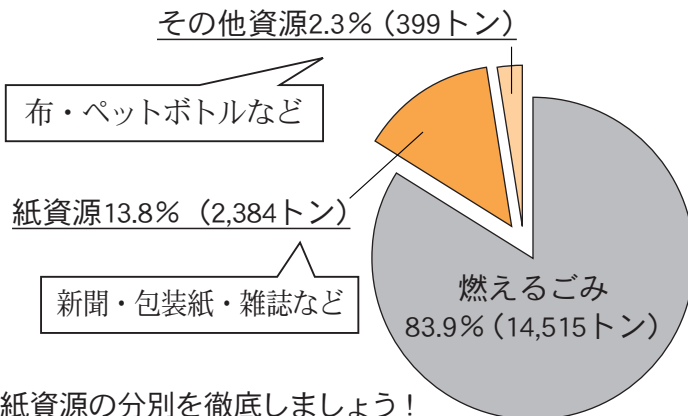
ごみダイエツト② ごみ減量大作戦

今回はごみとして捨てられてしまう資源物のお話です。

☆燃えるごみの中の資源物

牛久市の家庭から出る燃えるごみの中には16%以上の資源物が混入しています。まさに「分ければ資源、混ぜればごみ」となっています。ごみに混ぜられていた資源物は牛久クリーンセンターで焼却されてしまうため、資源物としてリサイクルされません。下の円グラフは燃えるごみに入っていた資源物種別の割合です。

燃えるごみの中に混入していた資源物の割合



資源物の10分類

①新聞
②雑誌・雑紙
③段ボール
④牛乳パック類
⑤古着・古布
⑥缶類
⑦びん類
⑧ペットボトル類
⑨木くず類
⑩陶磁器

①～④の紙類は「燃えるごみ」ではなく「資源物」です。

☆分別作戦③ 分別し資源物に出す

家庭から出る燃えるごみの中に混入している資源物は、分別することで「資源物」に生まれ変わります。分別という一手間を掛けることで資源の枯渇を防ぎ、ごみの削減さらに環境を守る行動につながるようになります。

◎地球環境を守るのは私たち！

私たちが豊かな暮らしを求めた結果、地球環境破壊に大きな影響を及ぼしています。この付けを私たちの子孫に負担させないためにもライフスタイルを見直しましょう！



問い合わせ 市廃棄物対策課 ☎内線1571

【お知らせ】

- ①牛久市指定袋「プラスチック専用袋」の名称が変更になります
名称：「白色トレイ・白色発泡スチロール専用袋」
実施時期：4月1日※在庫状況により順次変更してまいります。
- ②「牛久市行政情報出前講座」
ごみの減量方法や分別方法などについて出前講座をご活用ください。対象は市内に在住、在勤、在学している構成人員が10人以上の団体・グループの方です。

おわびと訂正

「広報うしく12月1日号」12ページの「新・牛久ごみニュース」の中で、1年間に1世帯が捨てた生ごみ量を約570kgとお伝えしましたが、正しくは230kgです。おわびして訂正します。

- ◇分別作戦① まずは「買う前に」
- ◇本当に必要なか検討しましょう。
- ◇過剰包装品の購入は控えましょう。
- ◇環境にやさしいものを選びましょう。
- ◇水筒を持ちましょう。
- ◇マイバッグなどを使いましょう。



☆分別作戦② 資源物の種類は10分別の仕方が分からないなどのご意見がありますので、右下の表をご覧ください。分別されず、燃えるごみの中には①から④の紙類が非常に多く混入しています。詳しくは「ごみルールブック簡易版 資源物分別表」または市ホームページをご覧ください。



お金をあげる？

～出会い系サイト内の悪質な手口にだまされないで！～

【事例】懸賞サイトに登録したところ、出会い系サイトからEメールが入った。男性A氏から無料ポイントが贈られ、A氏とEメールをやりとりするうちに「あなたのために500万円用意している」とEメールが入り、お金を受け取るようになった。会うために電話番号を交換する必要がありEメールを続けたが、「文字化け解除費用」「個人情報保護費用」の名目で高額なポイントを購入することになった。結局100万円以上をサイトに支払ったがA氏には会えなかった。

懸賞サイトや占いサイトに登録したら出会い系サイトからEメールが入り「お金をあげる」「芸能人の悩みを聞いてほしい」などと言葉巧みに誘い込み、頻繁にEメールのやりとりをさせ、高額な利用料金を支払わせるといった被害が発生しています。出会い系サイト内の悪質な手口にご注意ください。

<トラブルに遭わないためのポイント>

◆簡単に信じない

出会い系サイトは匿名性が高いため「うそ」や「成り済まし」が容易で、被害に遭っても立証は難しくお金を取り戻すことは困難です。

◆登録した覚えのないサイトにはかかわらない

一方的に登録されたサイトから不当に料金を請求されても連絡したり個人情報を知らせず、一切のかかわりを絶ってください。

◆出会い系サイトの課金システムに注意

最初は無料でも、一般的に出会い系サイト内では相手とのEメールのやりとりをするたびに料金が掛かります。高額になることもあり注意が必要です。

おかしいと思ったら、まずご相談ください。

相談日：月・水・金曜日(午前9時～午後4時)

問い合わせ 牛久市消費生活センター ☎830-8802 FAX830-8803

みんなの 農業

恒例！「河童大根」収穫体験

12月8日、牛久の名産品「河童大根」の収穫体験が井ノ岡町で行われました。

冬晴れの下、岡田小学校1年生93人を迎えたのは、JA 竜ヶ崎市大根生産部会の山岡正男部会長です。「葉っぱを握って、真っすぐ上に引っ



大きな大根が取れたよ～

～うしくスタイル～

張るんだよ」との説明を受けて収穫にチャレンジ。土から少しずつ現れる大根に歓声が上がります。「大きい～！」「白～い！」と寒さも忘れて、友達と比べっこが始まりました。「河童大根は普通の大根と何が違うんですか？」と

の質問に、山岡さんは「みんなで研究して作りあげた大根。柔らかくて甘みがあるんだよ」と答えました。収穫体験にも、地元のブランド野菜である河童大根を「知って、抜いて、食べてほしい」という生産者の思いが込められています。最後に山岡さんが「大きくなったら大根作りをやりたい人！」と呼び掛けると、たくさんの手が挙がりました。子ども時代の経験はずっと記憶に残るもの。楽しくおいしい「食農教育」が望まれます。

問い合わせ 市農業政策課 ☎内線1521～1522

話題

街にひろう

輝かしい

未来を担う新成人

平成22年牛久市成人式

朝から穏やかな晴天に恵まれた1月10日、市中央生涯学習センター文化ホールで「平成22年牛久市成人式」が開催されました。今回は新成人全員が平成生まれ。牛久市では810人が新たに成人の仲間入りをしました。

振りそでやはかま姿などの晴れやかな装いで出席した参加者は、旧友や恩師と久しぶりの再会をし、歓声を上げたり、写真を撮ったりして懐かしい時間を楽しみました。

第1部の式典で、池辺勝幸市長が「成人おめでとう。親に感謝し、子や孫に感謝できる人間になり、人間としての決まりを忘れずに人生を歩んでいってほしい」と式辞

を述べました。

また、成人式実行委員会委員長の砂子坂顕さんは、「今日を迎えるまでに友人や先生など数え切れない人々に支えられてきました。特に一番感謝したいのは両親です。ここまで育ててくれてありがとうございます。自分の行動に責任を持ち、何事にも真摯に取り組み立派な大人になりたい」と謝辞を述べました。第2部は、新成人代表の成人式実行委員会の企画運営で行われ、市内各中学校から恩師が駆け付け、お祝いの言葉を述べました。そのほかにも牛久のかっぱに関するクイズや抽選会に会場は盛り上がり、和やかな雰囲気の中、成人式となりました。



振りそで姿で楽しそうに歩く新成人

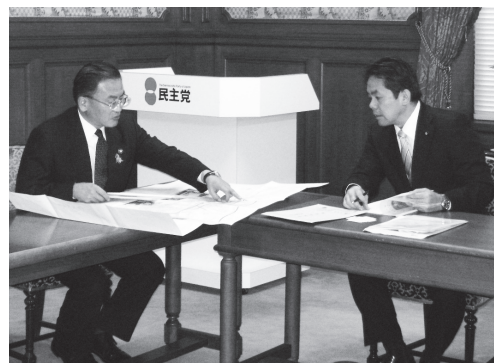
みんなで支え合えるまちに

12月13日、市保健センターで、「うしく介護の日2009」みんなで支えよう介護の輪」が開催され、『知ろう』『活かそう』『利用しよう』という3つのテーマごとにさまざまなイベントが行われました。『知ろう』では、自立支援用ロボットスーツHALのデモンストラーションや体力テストなどを開催。『活かそう』ではボランティア相談など、『利用しよう』では、介護者の会の紹介、介護相談や福祉車両展示などがありました。

基調講演では黒岩祐治さん(元フジテレビキャスター・国際医療福祉大学大学院教授・左写真)が「明るい介護、楽しくなければ介護じゃない」と題して話をしました。黒岩さんは、実父の病気のことうや現在取り組んでいる漢方と西洋医学のことなど盛りだくさんのお話を語り、会場を盛り上げました。



国道6号バイパスの事業促進などを要望



民主党富岡副幹事長(写真右)に国道6号バイパスについて力説する池辺市長

12月17日、池辺勝幸市長らは、国道6号バイパスの事業促進などについて、民主党幹事長ならびに国土交通大臣に要望書を提出しました。

池辺市長は、事業仕分けで国土交通省関連の予算が削減される中、国道6号バイパスの事業が滞ることなく計画通り実施されるよう強く要望するとともに、圏央道や関連する事業の継続などについても強く訴えました。

当日は、山岡恒夫県議会議員、根本洋治市議会議員、茶谷巖市議会議員のほか、他市の議員らも同行し、地元地域全体が要望内容について強く望んでいることを訴えました。

市民の安全安心を守る

1月9日、市中央生涯学習センター駐車場で恒例の「平成22年牛久市消防出初式」が行われました。

第1部では、消防車両に乗り込んだ牛久市消防団員と牛久消防署員が、市中央生涯学習センター駐車場に次々と入場し、機械器具点検などを行いました。

第2部では、池辺勝幸市長から「地域の区長などと連携を取って防災に心掛けてほしい」とあいさつがあり、続いて、長い間牛久市の消防活動に力を尽くした消防団員に永年勤続功労章などの表彰状の授与が行われました。



地域の安全安心を守る消防団員の皆さん

命を守る自主防災活動



実践さながらの「てこ」による救出訓練

うしくかつぱつ体操普及員が200人を超えました



かつぱつ体操普及員養成講座を修了した皆さん

12月25日、かつぱつ体操普及員養成講座を無事修了した6回生24人が地域の仲間入りをしました。修了式後、市保健センター前で恒例の体操披露を元気に行いました。1回生の誕生から6年、これで普及員は201人となりました。今では普及員の皆さんは地域の要的存在として、さまざまなボランティア活動や地区の重要な役割を担う、なくてはならない存在になっています。

1月13日、市保健センターで、牛久市防災会主催「消防防災技術講習会」が行われました。特定非営利活動法人危機管理対策機構の事務局長細坪信二さんの講義の後、災害現場で搬送者の優先順位を付ける「スタート・トリアージ」のトレーニングや災害現場で「てこ」の原理を活用した救出方法のトレーニングなどを実践しました。生き埋めとなった負傷者に見立てた人形を救出する訓練では、参加者たちは実際にボールや角材を利用し、作業を行いました。次第に、がれきの山から少しずつがれ

きを持ち上げ、負傷者を助け出す技術を得ました。阪神・淡路大震災の際、がれきの下敷きになった方の多くは、近隣住民が救出した例などからも、地域における緊急対応を自らが支援できるように災害対応能力を高める必要が叫ばれています。

市内工場用地の引き渡し

平成19年度から整備を進めてきた筑波南奥原工業団地に隣接する井ノ岡町の工場用地(約8・5ヘクタール)がこのたび完成し、(株)ホグメデイカルへの引き渡しが行われました。(左写真)

同社には井ノ岡町の谷津田再生の取り組みにより、市内の自然環境保全にもご協力をいただいています。今回の工場用地取得により、市内の経済活性化への寄与が期待されています。



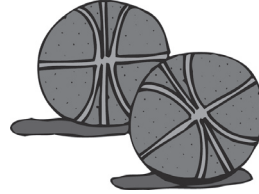
第23回牛久市ミニバスケットボール冬季大会



男子優勝の牛久レッドブルズ

	男子	女子
優勝	牛久レッドブルズ	シルバーユニコーンズ
準優勝	岡田ミニバス	向台ミニバス
第3位	向台ミニバス	牛久ミニバス

<12月5日(土)・6日(日)
牛久運動公園体育館>



チャンピオンフェスティバル2009バドミントン大会

	クラス	優勝	準優勝	第3位
男子	A	吉田・船橋	島田・藤森	山越・井坂、本多・浅野
	C	谷口・松田	高久・福島	遠藤・遠藤
	D	新明・木村	飯島・川野	中島・荒尾、松枝・齊藤
女子	A	田上・前川	風間・大手	伊野・小川、国分・池辺
	C	椎名・望月	輿水・野村	只川・山崎、吉木・國岡
	D	奥・吉田	田村・森	倉持・松浦、高橋・西原
小学生	高学年	松浦・下川	高橋・佐藤	杉井・立野
	低学年	菅井・谷口	下川・庄司	浅井・堀口



<12月13日(日)牛久運動公園体育館>

<敬称略>

第26回茨城県民駅伝競走大会

	市町村対抗の部 (牛久市)	クラブ対抗の部 (牛久走友会Aチーム)	クラブ対抗の部 (牛久走友会Bチーム)
1区	森田壮哉(牛久南中学校)	青山 努	高橋信博
2区	岩田 彩(牛久栄進高校)	宮田博幸	柳沢 彰
3区	香取将伍(東洋大牛久高校)	中村哲夫	大場 亨
4区	竹上舞衣子(牛久第三中学校)	齊藤敏治	早出 進
5区	七戸拓郎(下根中学校)	加瀬裕巳	石川 研
6区	中野美穂(牛久南中学校)		
7区	鈴木聡志(竹来中学校教員)		

【市町村対抗の部(全18チーム)】

13位

【クラブ対抗の部(全42チーム)】

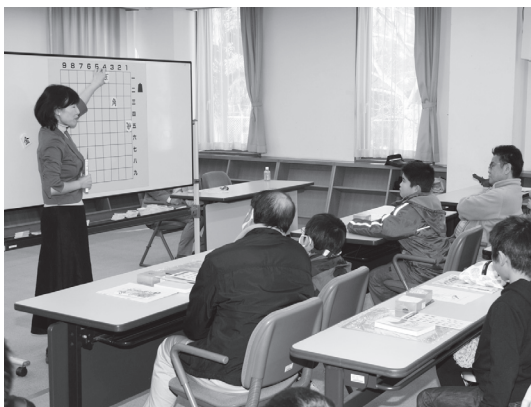
牛久走友会 A チーム 16位

牛久走友会 B チーム 38位



<12月12日(土)、笠松運動公園>

(敬称略)



古河女流二段(写真左)から説明を受ける参加者たち

講師として、真田圭一七段と牛久市出身の古河彩子女流二段が会場を訪れ、大きな将棋盤を前に、駒の基本的な動き方やルールなどを楽しく指導しました。講師の先生から「正解が分かる人!」と問い掛けられると、子どもたちは「はい!」と手を上げて元気に答えました。

1月9日、市中央生涯学習センター大講座室で、「はじめての親子将棋教室」が開催され、22組の小学生の親子が参加しました。

この教室は、文化庁主催の「生活文化普及支援事業」として全国各地で行われていて、市内では初の試みとなりました。

はじめての親子将棋教室

寄附金のご協力ありがとうございます

ふるさと牛久広援寄附

12月14日、中央に在住の徳生平八さん(写真左)から、100万円が「ふるさと牛久広援寄附金」として寄附されました。この寄附金は文化芸術振興のために使われます。



12月24日、キャノン(株)取手事業所から牛久市社会福祉協議会に5万円が寄附されました。

12月25日、(社)ガールスカウト

日本連盟茨城県第27団(左写真)から歳末助け合い募金が池辺勝幸市長に手渡されました。この寄附金は、生活に困りの方への見舞金として使われました。



1月15日、常陽銀行牛久支店からバザーの収益金4万1330円が牛久市社会福祉協議会に寄附されました。

ちょっと休憩

ぶれいく



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。
 あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1
 「広報うしくちょっと休憩」係
 Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

皆さんのお便りから

☆：冬は太陽が下がるので、庭木を高くしたままにしないでいただきたいです。今一度自分の庭を見回して、隣家への気配りを心掛けたいですね。



南・犬塚さん

短歌・俳句・川柳コーナー

- 猫の恋似合う港の石畳 栄町 増田さん
- 正月に餅が喰えればそれでよし 女化町 清水さん
- 露天風呂正月料理の自慢会 さくら台 二國さん
- 声かけず起ち居するくせつけにけり ペンネーム みそささいさん
- 夕焼けの明りで仕事もう一つ 迫り来る雪降る前に ペンネーム さくら貝さん
- マニキュアとイヤリングにも縁がなく 喜寿の人生ひたすら生きむ 島田町 坪井さん
- 風雪に耐えてぞ薫る梅が香は 散りてぞ後に光添ふらん 下根町 藤田さん
- 月は兎の餅搗きが 今宇宙が我が世界 小坂町 飯塚さん

イラスト、俳句、川柳など、毎月たくさんのお便りありがとうございます。紙面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますが、今後もたくさんのお便りをお待ちしています。

暮らしの情報

第4回牛久駅東口駅前広 場利活用ワークショップ

牛久ワインビレッジ構想を具現化する取り組みの一つとして、牛久の顔(玄関口)である牛久駅の東口駅前広場を使いやすく、また魅力を感じ、愛着の持てる空間として整備していきます。

そこで、市では市民の皆さんと共に専門家を交え意見交換しながら、そこで伺ったご意見やご提案を設計デザインへと反映していくため、「牛久駅東口駅前広場利活用ワークショップ」を開催していきます。街なかでのにぎわいづくり、使いやすく、憩いの場・交流の場となるよう駅前広場について語り合います。

※これまでに参加いただいた方へ

は、ご案内を通知しますので、お申し込みは不要です。

日時 2月13日(土)午後2時〜

場所 市役所本庁舎第3会議室(4階)

定員 30人程度

申し込み方法 2月10日(水)

までに、電話、FAX(871・1956)またはEメール(toshikeikaku@city.ushiku.ibaraki.jp)で、氏名、住所、連絡先(電話番号)をお知らせください。Eメールの場合は、件名を「ワークショップ申し込み」としてください。

問い合わせ 市都市計画課 ☎内線2524

エスカード牛久内公共施設臨時休業

イズミヤ牛久店休業に伴い、市役所駅前出張所、エスカード生涯学習センターおよび市中央図書館エスカード分館が、次のとおり臨時休館となりますので、ご了承ください。

臨時休業日 2月17日(水)

※土・日曜日にも証明書の発行業務を行っていますので、ご利用ください。

問い合わせ 市総合窓口課 ☎内線1623、市中央生涯学習センター ☎871・2300、市中央図書館 ☎871・1400

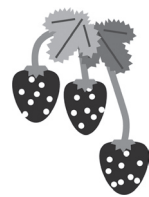
第90回うしくゴツ多市フリーマーケット

日時 2月14日(日)午前10時〜午後3時

場所 市中央生涯学習センター駐車場

イベント

①イチゴ1パック
：先着200名



様に格安販売(正午予定)

②牛乳1本・大根1本：先着200名様に格安販売(午後2時予定)

③再生家具販売(午前10時〜無くなり次第終了)

※イベントについては、天候などの都合により時間を変更することがあります。

次回開催 4月4日(日)※会場の都合により日程が変更になります。

問い合わせ 市商工観光課 ☎内線2551

相続登記はお済みですか月間

期間 2月の1カ月間※土・日・祝日を除く。

受付・実施場所 県内の各司法書士事務所

相談内容 相続登記に関する相談

相談料 無料

問い合わせ 茨城司法書士会 ☎029・225・0111

ここらの健康まつり

ここらの健康の保持、増進を図るため、「ここらの健康まつり」を開催します。当日直接会場へお越しください。

日時 2月6日(土)午後1時〜4時

場所 市中央生涯学習センター 多目的ホール

内容 ①【講演会】講師：山川百合子先生(県立医療大学講師)

②【映画上映】「ふるさとをください」③相談コーナー④販売コーナー※手話通訳、映画字幕あり。

定員 200人※先着順。

入場料 無料

問い合わせ 市社会福祉課 ☎内線1712



パブリックコメント(意見募集)を実施します

次の2つの計画について、その原案を作成しました。今後の計画策定に役立てるため、市民の皆さんからのご意見・ご提案を募集します。

(1) 牛久市地域福祉計画(素案)についてのパブリックコメント

市では、牛久市地域福祉計画(素案)の策定作業を進めています。

この計画は、子どもから高齢者の方まで、住み慣れたまち「うしく」で安心して暮らし続けるために、生活上の課題を自助・共助・公助の観点から解決できる仕組みづくりや、地域福祉の方向性を示すために、新たに策定するものです。

計画の閲覧場所 市社会福祉課窓口(市役所1階)、市情報統合窓口(市役所1階)、各生涯学習センター、市総合福祉センター

※市社会福祉課ホームページでも閲覧できます。

問い合わせ・提出先 市社会福祉課(〒300-1292牛久市中央3-15-1)

☎内線1713 FAX874-0421

(2) 牛久市次世代育成支援行動計画後期行動計画(素案)についてのパブリックコメント

市では、牛久市次世代育成支援行動計画後期行動計画(素案)の策定作業を進めています。

この計画は、次世代を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つための環境づくりを進めていくため、前期行動計画(平成17年度～21年度)を作り、保育施設の増設、保育サービスの充実など事業を展開しています。

今回、後期行動計画(平成22年度～23年度)では、子どもの成長と子育てを地域全体で支援し、子どもが尊重され、子育てが大切にされる社会を推進し、子育てしやすいまちづくりに向けて「後期行動計画(素案)」を策定するものです。

計画の閲覧場所 市児童福祉課窓口(市役所1階)、市情報統合窓口(市役所1階)、各生涯学習センター、市総合福祉センター

※市児童福祉課ホームページでも閲覧できます。

問い合わせ・提出先 市児童福祉課(〒300-1292牛久市中央3-15-1) ☎内線1731 FAX874-0421

【共通事項】

閲覧期間 2月1日(月)～19日(金)

意見の提出方法 郵送、FAX、Eメールでご提出ください。意見書の所定の様式は、上記閲覧場所で入手してください。電話による受付は行いませんので、ご了承ください。

意見などの公表 提出されたご意見は、住所、氏名などの個人情報を除き、原則として公表します。なお、提出意見に対する個別回答はしませんので、ご了承ください。

今年4月から 肝臓機能障害による身体障害者手帳の交付

対象 ①認定基準に該当する肝臓機能障害のある方(認定基準については、かかりつけの医師にご相談ください)②肝臓移植を受け、抗免疫療法を実施している方

申請方法 申請書、診断書、写真(縦4cm×横3cm)を市社会福祉課まで提出して申請してください。

※診断書は、身体障害者手帳指定医が作成したものに限りです。

※申請に必要な申請書、診断書の用紙は市社会福祉課にあります。

※申請手続きや指定医などについての詳細は、お問い合わせください。

問い合わせ 市社会福祉課 ☎内線1711～1712

「広報うしく」は、毎月1日号(行政区配布)と15日号(新聞折り込み)の月2回発行しています。市ホームページでもすべての内容を掲載しています。また、市内の各公共施設、金融機関、コンビニエンスストア(一部を除く)などに用意していますので、ご活用ください。



2011.7.完了
地デジ化

2011年7月24日までに地上テレビ放送は完全にデジタル放送に移行し、アナログ放送は終了します。

問い合わせ 地上デジタルコールセンター ☎0570-07-0101



新型インフルエンザワクチン接種のお知らせ

新型インフルエンザワクチン接種(任意接種)は、一般の健康な成人の方も接種が可能となりました。市から個別通知はありませんので、ご希望の方は直接実施医療機関にお問い合わせください。実施医療機関のお知らせは、昨年12月1日に全戸配布したチラシ、または市健康管理課ホームページをご覧ください。

★新型インフルエンザワクチン接種助成制度をご利用ください

- ・優先接種対象者以外の一般成人の方について、全額助成対象者が拡大される予定です。
- ・助成の申請期限は3月末日までとなっております。

【全額助成対象者】

① 市民税非課税世帯の方(同世帯の方全員が非課税の場合です)

② 生活保護法の被保護者

③ 1歳～中学生で小児慢性特定疾患受給者

※申請手続きが必要です。一般の健康な成人の方(高校卒業相当年齢以上～64歳)は、申請時期・方法についてお問い合わせください。

【一部助成対象者・助成額】

前記の全額助成対象以外の方で次に該当する方

- ① 妊婦(市民税課税世帯)：助成額 1800円(自己負担額1800円)
- ② 1歳～中学生：助成額1回1000円(自己負担額1回目2600円、2回目1550円)

※市内医療機関の場合は、窓口での支払いは、自己負担額分となりますので、手続きの必要はありません。

【新型インフルエンザワクチン接種費用】(全国一律)

1回目3600円、2回目2550円(1回目と違う医療機関での接種の場合3600円)

◆これから市内医療機関で接種を受ける方(全額助成の方の事前手続き)

① 医療機関に予約を取り、予約日までに、市健康管理課窓口で助成の申請書を記入し(印鑑、予防接種を予約した病院名、所在地、電話番号が必要)、「牛久市新型インフルエンザワクチン接種助成証明書」の交付を受けてください。



② 予約当日、医療機関の窓口にて「牛久市新型インフルエンザワクチン接種助成証明書」を提出してください。

※新型インフルエンザワクチン接種費用については、証明書を提出すれば、医療機関窓口で支払う必要はありません。

◆すでに接種を受けた方、市外医療機関で接種を受ける方、助成対象者で新型インフルエンザワクチン接種を受け、全額費用を支払った方

接種費用を振り込みますので、必要書類(印鑑、新型インフルエンザワクチン接種領収書、新型インフルエンザ予防接種済証、本人名義の振り込み口座(銀行名・支店名・口座番号)の分かるもの)をそろえて、市健康管理課窓口で申請してください。

問い合わせ 市健康管理課 ☎内線 1742～1744

健康講座

自分にあつた健康体操のコツを学ぶ



健康の第1歩は、正しい知識を持つことから始まります！あなたの生き生きはつらつライフを、健康運動指導士による健康講座で応援します！栄養士による健康食の試食もあります。

日時 3月25日(木)午後1時30分～3時30分

場所 市保健センター研修室(2階)

内容 講話および実技(室内でできる運動)

※当日は動きやすい服装で、普通の長さのタオル(約68cm)、運動靴、飲み物をご持参ください。

講師 藤森久美子先生(村山内科クリニック健康運動指導士)

定員 60人

申し込み方法 電話または市保健センター窓口でお申し込みください。

申込締め切り日 3月18日(木)

申し込み・問い合わせ 市健康管理課(市保健センター) ☎内線 1742

新型インフルエンザ電話相談

相談日時 月～金曜日午前8時30分～午後5時15分※祝日を除く。
問い合わせ 市保健センター ☎873-2111内線1742～1745



牛久市社会福祉協議会 嘱託職員等募集

嘱託・臨時・パートタイム職員

業務内容 ①地域包括支援センター業務
②ター業務嘱託職員・臨時職員
③居宅介護支援業務嘱託職員
④通所介護業務嘱託職員、看護師業務パートタイム職員
⑤身体障害者デイサービス業務パートタイム職員
⑥知的障害者デイサービス業務嘱託職員
⑦保育園保育士業務嘱託職員・パートタイム職員
⑧看護師業務パートタイム職員、調理業務パートタイム職員

市内保育園の子育て支援

★ピピピピひるび(つじが丘ふたばランド保育園)

親子で一緒に遊びましょう。
日程 2月3日(水)「豆まきをしよう!」、2月10日(水)「たまご先生とふれあいあそび!」、2月17日(水)「スライムを作ろう!」
時間 午前10時から30分〜40分程度
活動の活動となります。開始時間

までに保育園にお越しください。
場所 つじが丘ふたばランド保育園つき組
【保育園開放日】
利用時間 月〜金曜日午前9時〜午後1時、午後3時〜4時
※園開放日はどなたでもご利用できます。

お問い合わせ つじが丘ふたばランド保育園(田宮町199-1)
☎871-6928

★ペンギンクラブ(つばめ保育園)

どうぞ、お子さんと一緒にご参加ください!
日程 2月4日(木)「作って遊ぼう!」
2月25日(木)「アロマテラピー」
「雛人形作り」
参加費 1回500円(会員制)
申し込み・問い合わせ つばめ保育園(遠山町764-1) ☎871-5740

子どもへの関わり方を考える講演会

「幸せを招く福の紙(神) 困ったときの紙(神)頼み」折紙紙で楽しい紙ニユケーション」
日時 2月21日(日)午後1時30分〜3時(開場・受付午後1時)

場所 市役所本庁舎第3会議室(4階)
講師 鈴木恵美子氏(折り紙作家)
定員 100人※定員になり次第締め切ります。

参加費 無料※託児あり(要予約)。
申し込み方法 2月3日(水)午前9時から電話でお申し込みください。
申し込み・問い合わせ 牛久市要保護児童対策地域協議会事務局(市児童福祉課内) ☎内線1733〜1734

歴史を語り合う会

歴史を自由に語り合う場です。誰でも気軽に参加できます。
日時 2月7日(日)午後2時〜5時
場所 エスカード生涯学習センター
ター第1講座室(エスカード牛久4階)

演題 「社会保障制度の歴史」
内容 世界と日本の社会保障制度の歴史を振り返りながら、日本の社会保障制度の変化、そして今後の展望を語り合います。「社会保障」の用語、田中角栄内閣の「福祉元年」、世界との比較な

ど、興味深い事実も出てきます。
講師 杉森弘之氏
資料代 300円
主催 牛久史談会
問い合わせ 小林 ☎873-3299

かっぱ落語会

お待ちせしました。古典落語の会が今年もやってきました。笑って笑って不景気も風邪も吹っ飛ばせ!お子さんからご年配まで楽しめる演目です。
日時 3月14日(日)午後2時〜3時30分※市中央生涯学習センター駐車場も使用できます。
場所 市中央図書館視聴覚室(2階)
内容 古典落語、大喜利
出演 筑波大学落語研究会の皆さん
定員 80人※当日先着順。

入場料 無料
問い合わせ NPO法人リーブルの会(市中央図書館内) ☎871-1400

介護認定申請、介護相談は市高齢福祉課窓口へ

問い合わせ 市高齢福祉課
☎内線1753





学童保育のスタッフ(児童クラブ指導員)募集

放課後や夏休みなどに、保護者が留守になる小学生児童の健全育成・指導・保育する「平成22年度児童クラブ指導員」を募集します。資格は問いませんが、教員免許、幼稚園教諭・保育士免許などの有資格者で健康な方を歓迎します。

※春休み期間中(3月25日～4月5日)の指導員も併せて募集します。
勤務日 月～土曜日のうち週4～5日勤務
勤務時間 午後2時前後～6時30分(延長当番時は午後7時30分まで)

※夏休み期間などは、午前7時～午後7時30分のうち8時間以内のシフト交代勤務
勤務場所 市内各児童クラブ(9カ所のうちいずれか)
報酬 時給900円(通勤距離に応じて交通費を別途支給)

募集人数 若干名
申込期間 2月8日(月)～23日(火)

申し込み方法 非常勤登録申込書に必要事項を記入の上、写真を貼付して市指導課児童クラブ室(市役所第3分庁舎2階)へお申

し込みください。

※非常勤登録申込書は、市指導課児童クラブ室、または市人材育成課にあります。また、市人材育成課ホームページからもダウンロードできます。

問い合わせ 市指導課児童クラブ室 ☎内線3091

日本語講師ボランティア募集

牛久市国際交流協会では、市内に在住の外国人の支援のために、日本語教室を開催しています。

応募の条件 ①日本語学科を主専攻または副専攻した方②日本語教師養成講座を420時間修了した方③日本語教育能力検定試験合格者④日本語講師ボランティア養成講座修了者

※前記条件のいずれかを満たし、各学期(全10回)、毎週木曜日の午後7時から8時30分までの授業に参加できる方。また、教室の運営委員としても活動できる方※学生の方は今回対象外とします。

募集人数 若干名
申込締め切り日 2月26日(金)
申し込み方法 住所、氏名、性別、年齢、電話番号を記入の上、は

がき、FAXまたはEメールでお申し込みください。Eメールの際は、件名を「日本語講師ボランティア応募」としてください。また、Eメール送信後、2、3日経っても事務局から受信確認の返信メールが届かない場合は、お手数でも電話でお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ 牛久市国際交流協会事務局(〒300・1292牛久市中央3・15・633FAX873・2512 Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp)

牛久市教育の集い

市内の公立幼稚園、小中学校の教職員が一堂に会し、優秀論文の発表と学校教育に貢献された篤志寄付者への感謝状贈呈などが行われます。教育研究の成果を発表し、次年度へのより良い教育実践の足掛かりとすることを目的としています。

日時 2月18日(木)午後3時20分～5時
場所 市中央生涯学習センター文

化ホール

対象 市内教職員、保護者および市内に在住の方

入場料 無料

主催 牛久市教育委員会

問い合わせ 市指導課 ☎内線3021

牛久市景観ミステリーツアー参加者募集

日時 2月27日(土)午後1時30分
市役所集合

場所 普段入れないビルの屋上から牛久の美しい街並みを観察

(場所は秘密)

内容 第1回「高いもんめぐり」(市街地・郊外のビル、夕日のスポット)

対象 市内に在住の方

定員 20人※先着順。

参加費 800円(資料、ティータイム有り)

申し込み方法 電話、FAXまたはEメールでお申し込みください。

後援 牛久市

申し込み・問い合わせ 牛久市景観まちづくりネットワーク(坂)

☎・FAX 873・7903 E

メール kvu-saka@yc4.so-net.ne.jp

(電話は午後6時以降)

おわびと訂正

「広報うしく1月15日号」6ページの「第3回小川芋銭検定」のEメールに誤りがありました。正しくは chuuou@city.ushiku.ibaraki.jp です。おわびして訂正します。



第41回ヘルシーボール教室

日時 2月27日(土)午前9時～11時
場所 牛久運動公園体育館サブアリーナ

対象 市内に在住・在勤の方※年齢は問いません。

参加費 大人のみ1000円(保険代として当日徴収します)

申込締め切り日 2月24日(水)
※運動のできる服装で、上履きを持参してください。

申し込み・問い合わせ 牛久市体育協会事務局(牛久運動公園体育館内) ☎873・2486

2010牛久の街を走る会

牛久の街を走ってみませんか? メタボリック対策、走力アップなど目的はいろいろ、みんなで楽しく走りましょう。合計4回の練習会を計画しています。いつからでも、何回でも参加可能です。個人での参加はもちろん、ご家族やご友人との参加をお待ちしています。※当日申し込み。

日時 3月7日、4月4日、5月9日、6月6日の各日曜日午前8時30分集合

集合場所 牛久運動公園プール前
参加費 無料

主催 牛久走友会、牛久市体育協
会

問い合わせ 金野 ☎873・8604

平成21年度牛久市民硬式シングルステニス大会

日程・場所 ①【一般男女】3月14日(日)受付午前8時、開会式午前8時30分、予備日3月28日(日)。牛久運動公園テニスコート(サンシャインコートハード7面)②【ジュニア】3月13日(土)受付午前8時、開会式午前8時30分、予備日3月27日(土)。東洋大学附属牛久高等学校テニスコートオムニ7面

※一般とジュニアの日程が異なるのでご注意ください。

種目・定員 【一般男子】男子32
ドロー、【一般女子】24ドロー、
【ジュニア(小学1～3年生(男女混合))】12ドロー、
【ジュニア(小学4～6年生(男女混合))】12ドロー、
【ジュニア(中学生男子)】12ドロー、
【ジュニア(中学生女子)】12ドロー

参加資格 市内および龍ヶ崎市

に在住・在学・在勤の方※ただし、一般の部は高校生以上のみ。ジュニアはセルフジャッジができること。

参加費 1500円(当日徴収します)

申し込み方法 2月1日(月)～20日(土)に、テキストメールで種目名、氏名、参加資格、住所(在勤の場合は勤め先の名称と住所)、所属クラブ、学校名、電話番号を記入の上、Eメールでお申し込みください。受け付け後返信しますので確認してください。

※牛久運動公園体育館での受け付けは行いません。
※東洋大学附属牛久高等学校は、コートを借りるだけなので、問い合わせはしないでください。
※エントリーのキャンセルは申し込み期間内であれば受け付けますが、それ以降のキャンセルおよび当日の欠席は参加費を請求しますのでご注意ください。

主催 牛久市体育協会硬式テニス部

申し込み・問い合わせ 川村 Eメール ushiku-taikyo-tennis@hotmail.co.jp

4分の1の奇跡〜本当のことだから〜

源と感動のドキュメンタリー映画
養護学校の先生を通して人生の困難や障害を宝に変えて生きる人々が描く、涙と感動のドキュメンタリー映画。

日時 2月28日(日)【第1回】午後0時30分～(午後0時20分開場)、【第2回】午後2時40分～(午後2時30分開場)※上映時間は約100分。

場所 市総合福祉センタービデオ映画館
定員 45人
入場料 1100円(事前予約)、1500円(当日券)

チケット取り扱い いしじま落花生店(文化町)、県南ロックセンター(栄町)

主催 音夢の会、ミュージックウェーブ
後援 牛久市教育委員会、牛久市社会福祉協議会、牛久子育てネットワーク紡ぎの輪、みよりの郷ほか

問い合わせ 音夢の会事務局(松永) ☎・FAX 873・7422





就農希望者を募集します！

牛久市地域担い手育成総合支援協議会では、農業振興策の一環として、新規就農者を募集します。本気で農業に取り組み、農業経営者を目指す方、奮ってご応募ください。応募条件 現在失業中もしくは求職中であること(新卒も可)。勤務条件 原則として週休2日(時期により変動あり)。月給制。作業内容 耕作放棄地再生作業、農地管理作業および農作物生産作業

※詳細は、2月1日配布の環境経済部内広報をご覧ください。
問い合わせ 市農業政策課 ☎内線 1521-1522

稲敷地方広域市町村圏事務組合からのお知らせ

平成21・22年度競争入札参加資格審査申請追加受付

当組合では、平成22年5月1日から平成23年4月30日までに発注する建設工事、測量・コンサルタントなどの業務、物品購入および役務提供などの競争入札参加資格審査の追加受け付けを行います。入札参加希望者は必ず資格審査を

受けてください。
受付期間 2月1日(月)～3月31日(水)
問い合わせ 稲敷地方広域市町村圏事務組合管理課 ☎0297・64・3741

竜ヶ崎税務署アルバイ

雇用期間 2月～3月
勤務時間 月～金曜日(1日7時間以内)※2月21日(日)および28日(日)については出勤の場合あり。
勤務内容 パソコン入力補助、案内受け付け、書類整理など
報酬 時給840円(内部規定による通勤手当あり)

対象 パソコン(ワード・エクセル)操作ができる方
※面接をしますので、ご都合の良い日を電話でご連絡ください。
申し込み・問い合わせ 竜ヶ崎税務署総務課(定延) ☎0297・60・2004

税理士による還付申告無料相談

2月23日(火)の税理士記念日に、税理士事務所において、次の方々のうち小額な還付申告相談および

申告書の作成を無料で行います。最寄りの税理士事務所へ事前に電話連絡の上、お出掛けください。事前連絡の受け付けは、月～金曜日の午前9時30分～午後4時です。
対象 ①年金を受けている方②給与所得者で医療控除を受けようとする方③年の途中で退職または就職した方など
問い合わせ 関東信越税理士会 竜ヶ崎支部 ☎0297・64・7087

詩吟教室 見学・体験

日本詩吟学院岳風流統「大利根吟詠会」

漢詩だけでなく和歌、俳句、新体詩も学べます。初めての方も楽しく覚えられます。自作の短歌や俳句を吟じてみませんか。腹式呼吸で詠うので、①有酸素運動効果②ストレスの解消③心身の老化防止になります。生涯教育にも最適です。

日時 毎週土曜日午後1時30分～
場所 市中央生涯学習センター
参加費 無料
申し込み・問い合わせ 丸山 ☎874・0614

関東つくば銀行年金無料相談(要予約)

日時 3月18日(木)午前10時～午後3時
場所 関東つくば銀行牛久東支店 会議室(2階)

相談内容 年金受給に関する手続きなど
相談料 無料
持参する物 年金手帳など
問い合わせ 関東つくば銀行牛久東支店(加藤・藤咲) ☎874・2121

関東電気保安協会からのお知らせ



2月は政府の呼びかけによる省エネルギー月間です
お問い合わせ (財)関東電気保安協会茨城事業本部 ☎821・8929
<http://www.kdh.or.jp>



森においでよ!

牛久自然観察の森 2月のイベント案内



★四季のガイドツアー

日曜日、祝日の午後2時～3時(参加無料)
7日(日)、11日(木・祝)、14日(日)、21日(日)、28日(日)
自然に詳しいレンジャーが森をご案内します。
*当日受け付け。ネイチャーセンター前集合。
*小さなお子さん連れでも参加することができます。

★森でランチ♪「小さな春を探そう」

5日(金) 正午～午後1時(参加無料)
幼児とその保護者を対象にした読み聞かせ会。
*当日受け付け。ネイチャーセンター前集合。
*お弁当や飲み物をご持参ください。
*雨天時はネイチャーセンターで行います。

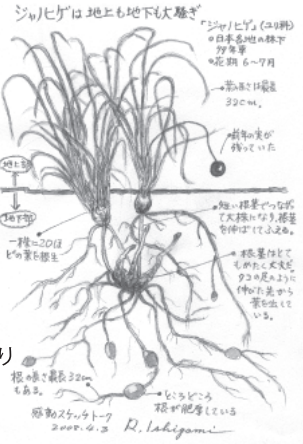
★バードウォッチング 協力:牛久とりの会

21日(日) 午前9時～11時(参加無料)
*当日受け付け。ネイチャーセンター前集合。
*無料で双眼鏡の貸し出しも行っていきます。



★園長の感動スケッチトーク原画展

4日(木)～21日(日) ※開園日のみ(入場無料)。
場所:ネイチャーセンター内中央ホール
園内に掲示された2年分の「園長の感動スケッチトーク」原画をご紹介します。
14日(日) 午前10時から正午には「園長の感動ガイドツアー」を開催します。
*2日(火) 午前9時から電話またはネイチャーセンターで申し込み受け付け。



「園長の感動スケッチトーク」より
ジャノヒゲ

開園時間:午前9時～午後4時45分(入園無料)

2月の休園日:1日(月)、8日(月)、12日(金)、15日(月)、22日(月)

〒300-1212 牛久市結束町489-1 ☎ 874-6600 FAX 874-6812

Eメール kansatsu@city.ushiku.ibaraki.jp

ホームページ <http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/section/kansatsu/index.htm>

【早春の森を歩きませんか】

まだ寒い日が続きますが、梅の花やコブシの花のほころぶ姿、ウグイスのさえずりなど、春を探しに森を歩いてみませんか。

初めての水墨画講座

白と黒だけで展開される水墨画は、見る人に安らぎを感じさせる魅力があります。近年水墨画の展示会で、初心者講座のご要望があり、次の要領で8回開催します。

日時 4月～7月の第2・第4土曜日 午後1時～4時30分

場所 エスカード生涯学習センター 講座室

対象 どなたでも

定員 12人 ※定員になり次第締め切ります。

講師 真鍋宣子氏(現代水墨画協会 会参事・NHK学園講師)

参加費 無料 ※筆、すずりなどの用具は各自持参。用具などが準備できない方は後日相談。

申し込み・問い合わせ 加治 ☎ FAX 873・2439

伝統文化こども日本舞踊教室終了発表会

日時 2月14日(日) 午後2時～

場所 三日月橋生涯学習センター 研修室1・2・3

問い合わせ 花柳流八重花会(藤田) ☎ 873・7851

わが街の木

樹名と姿にロマンを感じる ヒマラヤスギ(マツ科)

ヒマラヤ西部からアフガニスタン原産の常緑高木。日本には明治初期に渡来し、公園や校庭などに植えられています。名前はスギですが、マツの仲間と同じような球果(マツカサ)が見られます。秋に雄花と雌花を咲かせ、やがて10cmほどの球果を上向きに付けます。翌年の秋に熟し、樹上で分解して散ります。その落下した中心部はバラの花そっくりで、見事な木彫りのようです。樹形はきれいな円すい形で、枝は水平に広がりその先端はやや垂れ下がり、全体的に青白く見え独特の雰囲気があります。



【市中央生涯学習センター】

資料提供: NPO法人うしく里山の会(チーム街路樹20)

問い合わせ 市緑化推進課 ☎ 内線 1511



2011.7.完了
地デジ化

2011年7月24日までに地上テレビ放送は完全にデジタル放送に移行し、アナログ放送は終了します。

問い合わせ 地上デジタルコールセンター ☎0570-07-0101



この写真は、昭和51年2月の上棟式を撮影したものです。上棟式では家の主人、親せき、大工が屋根に上り、もち、お菓子、ミカンやお金などを、軒下に集まった近所や通りすがりの人たちにまきました。（柏田町 宮澤氏所蔵）

問い合わせ 市生涯学習課(市中央生涯学習センター内) ☎871-2301

伝えたい 残したい 20世紀のうしく

「昔のうしく」の写真を
募集しています

皆さんのご家庭に眠っている「昔のうしく」の写真はありませんか？

市では今、そのような「昔のうしく」の写真を収集しています。「懐かしい」「残したい」写真がありましたら、ぜひご協力ください。

※市のホームページの「牛久市の文化芸術」の中に掲載を開始しました。

つばめ保育園の お友だち



つばめ保育園のお友だちは、牛久の地図を作りました。

牛久駅からシャトーカミヤ、牛久市役所、中央郵便局などを実際に歩いて見学し、自分の目で見た風景を廃材や段ボールを使って上手に作りました。

道路や信号も付けて、小学校入学を前に横断歩道の渡り方などを練習します。



つばめぐみ

平成22年2月1日(1018)号

発行・編集 / 牛久市市民活動課
〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1
☎029-873-2111 FAX 029-873-2512

再生紙を使用しています。

環境に優しい大豆インキを使用しています。